

## 「景観か生活か！？鞆の浦バイパス建設問題」(第6学年)

奈良市立佐保小学校 吉村 泰典

### 1. ESDを生かした授業づくり

#### (1) 単元名・学校種と学年

「景観か生活か！？鞆の浦バイパス建設問題」 小学校第6学年

#### (2) 単元の概要

本単元では、鞆の浦(広島県福山市)のバイパス架橋建設問題を通して景観と生活、異なる2つの価値観について議論し、持続可能な開発について多面的な考え方を養うことを目的としている。

鞆の浦は広島県福山市鞆地区周辺の港湾及び海域を指す。古代より「潮待ちの港」として知られ、万葉集にも鞆の浦を詠った歌が残されている。また、江戸時代には朝鮮通信使の寄港地としても使用され、福禅寺対潮楼には「日東第一形勝」と記された文が残されている。同時代に港湾施設として使用された常夜燈や雁木、波止場といった設備や、当時の町地図に描かれた街路も現存しており、名勝・鞆公園として国からの指定を受けている。さらに、宮崎駿監督が『崖の上のポニョ』を構想した地としても有名である。

しかし、江戸時代になされた町割りがそのまま現在に残っているため、道路が狭く、対向車がすれ違うことも困難である。特に観光客の多い時期には、車が混雑し、地元住民の生活にも多大な影響を与えている。そのような背景から、1983年、鞆の浦の一部に埋め立て架橋工事を行い、沼隈半島方面への通行が可能になる県道47号線バイパスの建設が計画された。以来30年、バイパス建設に賛成派と反対派で議論が交わされ、現在も係争中である。

このような景観訴訟問題は鞆の浦のみに見られる問題ではなく、日本各地に見られる問題である。この問題について考えることで多様な価値観にふれ、多面的な見方、考え方【多様性】を身に付けさせたい。また様々な立場の意見から現状を把握し、議論を重ねた上で自分なりの意志決定をすること【責任性】で望ましい将来の社会の姿について考えさせたい。

#### 【持続可能な社会づくりの構成概念】

構成概念Ⅱ 多様性…自然・文化・社会・経済に関わる事物・現象を多面的に見たり考えたりすること

構成概念Ⅴ 責任性…現状を把握した上で望ましい将来像について意思決定をすること

### 2. ESDの視点を生かした授業の実践

#### (1) 単元の目標(重視する能力・態度)

##### 態度・能力⑤ 他者と協力する態度

同じ考えの児童と積極的に意見を交換し合ったり、違う考えの児童とお互いの考えを尊重し合いながら議論しようとしたりすることができる。 【関心・意欲・態度】

##### 態度・能力① 批判的に思考・判断する力

鞆の浦景観訴訟問題について、資料をもとにそれぞれの立場の意見を客観的に考え、合理的な判断をすることができる。 【思考・判断・表現】

##### 態度・能力④ コミュニケーションを行う力

それぞれの児童がもった意見を話したり、聞いたりするなどして伝え合い、意見をより深めることができる。 【技能】

態度・能力③ 多面的、総合的に考える力

鞆の浦の歴史や文化的価値、また抱えている問題点について知るとともに、賛成派、反対派それぞれの考えについて理解することができる。 【知識・理解】

(2) 評価基準

他者と協力する態度 (ア)	批判的に思考・判断する 力 (イ)	コミュニケーションを 行う力 (ウ)	多面的、総合的に考える 力 (エ)
① 鞆の浦景観訴訟問題について関心をもち、すすんで調べたり、発表したり、考えをまとめたりしようとしている。	① 資料に基づいて、根拠をもって自分の立場について判断している。	① 鞆の浦景観訴訟問題について、自分がもった意見を友達にすすんで話したり、友達の意見を聞いたりして自分の考えを深めている。	① 鞆の浦の歴史や文化的価値、景観訴訟問題などについて資料をもとに正しく理解している。

(3) 単元の計画

時	主な学習活動と内容	◇教師の支援 ◆主な評価
	<p>■名勝・鞆の浦について知る①</p> <p>○鞆の浦の位置について知る。</p> <p>○対潮楼、常夜燈や江戸時代から残る港湾施設 雁木などについて知る。</p>  <p>江戸時代から残る常夜燈</p>  <p>坂本龍馬の隠れ家 榎谷清右衛門宅</p>  <p>サザエさんにも取り上げられた対潮楼</p>	<p>◇坂本龍馬ゆかりの地であったことや、朝鮮通信使の接待に使われたことなど、社会で学習したことと関連付けながら写真を見せる。</p> <p>◇『崖の上のポニョ』のふるさとであることや、サザエさんで紹介された名勝であることなど、児童が親しみをもてるように配慮する。</p> <p>◆ア①</p>



江戸時代から残る雁木

■ 鞆の浦景観訴訟問題について学ぶ②

○ 鞆の浦が抱えている問題について予想する。

昔ながらの風景を残す鞆の浦の街並



- 環境問題かなあ。
- 津波や水害に弱い町かもしれない。
- 交通の便が悪いのかもしれない。

■ 賛成・反対に分かれ意見をそれぞれの立場の中で交換し合う③

- 賛成派、反対派それぞれの主張について知り、自分の立場を決める。
- 賛成派、反対派に分かれて意見を交換し合い、それぞれの立場で立論や質問事項、反対側の意見で出そうな意見に対する反論を考えさせる。

【賛成派の主な意見】

- ・ 鞆の浦周辺の道路の混雑が住民の生活に大きな支障をきたしている。
- ・ 観光に必要な大型バスが通り抜けられないため、大きく迂回しなければならない。
- ・ 津波などの災害発生時に迅速に避難できない。

- 江戸時代から残っているなんてすごい。
- こんな場面、サザエさんで見たことがあるぞ。
- 坂本龍馬とかかわりがあったなんて。
- この建物は何に使われたのかな。



街路は細く、車が行き違うことができない

- ◇ 江戸時代の町割りが現在でも残っていることと、観光地であることをもとに考えさせる。
- ◇ 古くから残る住居や文化財のため道が細く、特に観光シーズンには車が混雑して現地住民の生活に支障が出ていることに気付かせる。
- ◇ 上記のことが原因で鞆の浦の一部を埋め立て、沼隈半島方面に抜けるバイパス道路を建設する計画について裁判になっていることを知らせる。◆エ①
- ◇ 賛成派、反対派それぞれの立場の方の証言をまとめたものなどを用意し、児童が判断をする資料を与える。
- ◇ 立場を決められない児童には審判をさせ、それぞれの立場からどのような意見が出るか予想させる。
- ◆イ①

【反対派の主な意見】

- ・ 山側にトンネルを掘ることで問題の多くを解決することができる。
- ・ バイパス工事は江戸時代から受け継がれてきた美しい景観を破壊する。
- ・ 橋を架けても十分な高さは確保できないので災害には対応できない。



バイパス建設賛成派の看板



埋め立て工事差し止め判決を知らせる新聞記事



橋が架けられる場所

埋め立て架橋工事の計画（韮町のまちづくり 福山市ホームページ）

■ 韮の浦景観訴訟問題について討論をする④

- 立論⇒質問⇒反論⇒フリートークの流れで討論を行う。
- 審判を説得するように議論を進める。

■ 韮の浦景観訴訟問題について話し合いを行う⑤⑥

- 賛成派、反対派それぞれの主張から、バイパス建設のメリット、デメリットを確認し、持続可能な開発という視点で議論を行う。
- 韮の浦景観訴訟問題に類似した日本各地の事例を知る。
- この学習を通して考えたことを書く。

- ◇ 司会進行は児童に行わせるが、論点がずれてきたら修正するよう声をかける。
- ◇ 多くの児童が発言できるように、1人が話せる回数を制限する。

◆ ウ①

- ◇ 討論で争点になった部分をクローズアップし、論点がずれないようにする。
- ◇ 国立マンション問題、京都ホテル問題、大和北道路建設問題などを紹介し、韮の浦の問題ではなく、日本各地で起きている問題であることに気付かせる。

- ◇ 韮の浦景観訴訟を通して考えたことはどのようなことか、また景観と生活など異なる価値観がぶつかったとき自分はどのように考え、判断するのか、について考えを書かせる。

◆ イ①